

年末の交通安全運動について

明日12月11日(火)～12月31日(月)までは「年末の交通安全運動」期間となります。年末は、冬季の日没の早まりと年末特有の気ぜわしさから、毎年、夕暮れ時の歩行中・横断中の事故、交差点における事故が多くなります。また積雪・凍結による道路環境の悪化に伴う重大事故の発生が懸念されます。そこで生徒諸君にも以下の点について注意及びお願いをしておきます。

<夕暮れ時と夜間の交通事故の防止>

- 夜間に発生する事故の死者が事故全体の約半数を占め、致死率は昼間発生する事故の約3倍です。(致死率:死傷者の合計に占める死者の割合)
- 夕暮れ時は、人も自転車もドライバーから見えにくくなります。

《ポイント》

歩行者・自転車

- ①夜光反射材や自発光反射材を活用して、自分の命を守りましょう

夜光反射材:いわゆる反射材です。最近反射材付きの靴や帽子、携帯用のストラップの反射材なども市販されています

自発光反射材:車のライトが当たらなくても自ら光を放ち自分の存在をいち早く相手に伝える物。LEDのアームバンドなどが比較的安価で販売されています。

- ②自転車は早めにライトを点灯しましょう。自転車利用者は自動車等から自分を「見てもらうため」つまり「早めに自転車の存在に気づいてもらうため」に早めのライト点灯を心がけて下さい。

<交差点における交通事故防止>

- 県内で起きている交通事故の約半数は交差点・交差点付近で発生しています。
- 安全確認不足や一時不停止、信号無視などが主な原因です。

《ポイント》

- ①人や自転車も、交差点では安全確認を確実にし、信号や標識に従って通行しましょう。
- ②自転車は見通しの悪い交差点では必ず、スピードを落として安全確認を行いましょう。今年度、登下校時の自転車通学で危うく自動車と接触しそうになった生徒がいます。自転車の乗り方には充分気をつけて下さい。
- ③原付通学者も同様です。これから積雪・路面凍結が予想されます。これからは天候により原付を使用すべきかどうかよく考えて利用して下さい。
- ④工事箇所も同様に注意が必要です。標識や誘導員の方の指示に従って通行して下さい。